

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年4月20日

事業所名:放課後等デイサービス ともいくの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		おやつ提供時は狭くなるため、机配置を工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		適切な職員数で定着している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	玄関には階段があるが、持ち運び用スロープを活用している。以前に階段手すり設置を検討したが、費用面で困難だった。	車椅子使用時は、玄関階段部分に持ち運び用スロープを設置しているが、そのまま出入りは難しいので支援者が介助している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・自己目標管理シートや人事考課にて目標設定、振り返りをしている。 ・午前中に昨日の振り返りの実施、パート職員には出勤時にフィードバックして情報共有している。また、個別支援計画を定期的にモニタリングして、計画に反映している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・アンケート集計や保護者面談時の保護者の意見を全職員にフィードバックし業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページで公表し、保護者に対して書類でフィードバックしている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・関係機関による外部評価の受審を検討していく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・虐待防止や感染症対策等を含めた研修年間計画を策定し、市や県、その他団体主催の研修会、法人主催の研修会に参加。 ・研修の受講を推進している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別懇談会や保護者からの相談、連絡等を記録に残して職員による個別支援会議の実施し、計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・事業所で作成したアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・活動計画の原案を会議で検討、確認している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・毎月活動内容の検討会を行い、新しい活動の検討をしている。	・新型コロナウイルス感染防止のため、活動内容に制約を受ける面がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・個別支援計画に基づき利用者ごとの個別課題を設定し実施している。 ・長期休暇中は、集団活動をより多く取り入れてその中で個別課題達成に向けて支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・日々全員で行う集団活動とそれぞれの利用者に合わせて個別課題を設定して計画を立てている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・職員全員で打ち合わせを行い、前日の振り返りや留意点を踏まえて、その日の活動計画や個別課題、役割分担について確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援終了後に記録用紙に活動記録を記入し、翌日に振り返りを行い、情報を共有している。管理者には当日気づいた点を職員が報告している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・個別支援計画をもとにその日の個別課題を設定して進捗状況を記録し、結果を打ち合わせで情報共有し、検討を行いながらその後の支援につなげている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・保護者の意見も踏まえたモニタリング実施結果を職員全体で情報共有・検討し、適宜個別支援計画の目標変更を保護者の同意のもと実施している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		・各子どもの特性や適応行動の状況を踏まえて基本的な生活動作の獲得や成功体験の積み重ね、及び楽しい空間作りをしている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者や担当者が参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・年間計画、行事予定、下校時刻等情報共有できている。但し保護者の同意が必要な情報共有もあると認識している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・現状は該当利用者は居ないが該当利用者が入ってくる場合は体制を整える。
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・相談支援事業所を通じて関係機関等との情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・現在、直接的な情報提供は無いが、相談支援専門員や保護者への情報提供は行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・必要時には、連絡を取り助言を受けている。研修には積極的に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・長期休暇中に実施を検討したが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、見送っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・事業所名を登録し、積極的に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時にはその日の子どもの様子を時間の許す限り伝達している。個別懇談会では保護者のニーズをアセスメントし個別支援計画に反映している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	○		・送迎時や個別懇談会において、保護者の悩みに寄り添い、保護者の対応力が向上するよう話し合いを続けている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・重要事項説明書等で変更時保護者に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・レスパイトケアの一環で主に管理者が実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・年間行事として2回保護者会を例年開催しているが、コロナ禍で実施できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・問題が発生した場合、直ぐに管理者に報告する体制になっている。また、苦情発生の場合、管理者から保護者に即対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・ともい通信やブログ、利用申し込み表を発行し子ども達や保護者が選択できる様にしている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		・保護者の同意を基本としている。ともい通信やHP等の子どもの写真掲載にも注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・子ども達に対しては絵カードやジェスチャー等で意思疎通を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			・自治会長への案内を行い、今後の活動への協力を依頼した。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・見える化していて職員の意識を高めている。特に現在は、コロナ対策や虐待防止に沿って実行している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・避難訓練を定期的実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・事業所内に委員会を設置し、事案の検討を行うとともに、職員の研修機会を多くしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・事業所内の設置した委員会を通じて身体拘束について基準を設けるとともに、保護者にも身体拘束について文書で確認を得るようにしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・保護者の要望に即して対応している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハットがあれば直ぐに書けるメモや報告様式があり共有できる体制になっている。		